【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公開番号】特開2010-227628(P2010-227628A)
【公開日】平成22年10月14日(2010.10.14)
【年通号数】公開・登録公報2010-041
【出願番号】特願2010-158149(P2010-158149)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年10月1日(2010.10.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
複数種類の図柄を変動させて行う図柄変動ゲームを表示する表示手段と、図柄変動ゲームの始動条件を付与する始動入賞手段と、始動入賞手段への遊技球の入賞を契機に大当りに当選しているか否かを判定する大当り判定手段と、小当りに当選しているか否かを判定する小当り判定手段と、前記大当り判定又は前記小当り判定が肯定の場合に当りの種類を決定する当り種決定手段と、当り遊技中に開放する入賞手段とを備え、前記大当り判定又は前記小当り判定が肯定の場合には前記図柄変動ゲームの表示結果が表示された後に前記当り種決定手段の決定結果に基づいて前記入賞手段を開放する当り遊技が行われ、前記大当り判定が肯定で前記大当り判定を肯定とする当選確率を低確率から高確率に向上させる確率変動状態を付与する当りの種類が決定される場合には前記入賞手段を開放する当り遊技の終了後に前記確率変動状態が付与される一方で、前記小当り判定が肯定の場合には当該肯定判定時の遊技状態が前記入賞手段を開放する当り遊技の終了後も継続される遊技機において、
前記当りの種類からは、前記入賞手段の上限合計開放時間と前記当り遊技の終了後の遊技状態が特定され、
前記当り遊技は、前記当り種決定手段が前記大当りの当選のもとで第１当りを決定した場合に付与される第１の当り遊技と、前記当り種決定手段が前記大当りの当選のもとで第２当りを決定した場合に付与され、前記第１の当り遊技よりも前記入賞手段の上限合計開放時間を短く設定した第２の当り遊技と、前記当り種決定手段が前記小当りの当選のもとで第３当りを決定した場合に付与され、前記第２の当り遊技との差異を遊技者が判別不能な態様で前記入賞手段を開放する第３の当り遊技とからなり、
前記図柄変動ゲームでは、前記第２当りが決定される場合と前記第３当りが決定される場合とで演出用の図柄で構成される表示結果として同一の表示結果が表示されるようになっており、
前記第２当り及び前記第３当りの何れかに基づく当り遊技終了後、当該当り遊技終了後の遊技状態が確率変動状態であるか否かを秘匿する特別モードを設定し、当該特別モードに基づく秘匿演出を実行させる秘匿演出実行手段と、
前記第２当り及び前記第３当りの何れかの当選を契機として前記特別モードを設定するモード設定契機の到来により、前記第２当り及び前記第３当りの何れに当選したかを判定する設定契機判定手段と、

前記モード設定契機の到来時に、前記第２当り及び前記第３当りの何れかの当選時の遊技状態が確率変動状態であるか否かを判定する遊技状態判定手段とを備え、
前記特別モードは複数種類用意されているとともに、当該複数種類の特別モードは確率変動状態が付与されている可能性の大小によって順序付けされており、
前記秘匿演出実行手段は、前記特別モードが設定された遊技状態中に前記モード設定契機が到来した場合には前記モード設定契機の到来時に設定されている特別モードよりも前記確率変動状態が付与されている可能性が大きくなる特別モードを選択可能であって、前記設定契機判定手段により前記第２当りに当選した旨が判定されている場合には前記第３当りに当選したときよりも前記確率変動状態が付与されている可能性が大きくなる特別モードを選択し易くなっているとともに、前記遊技状態判定手段により前記確率変動状態である旨が判定されている場合には前記確率変動状態が付与されていないときよりも前記確率変動状態である可能性が大きくなる特別モードを選択し易くなっていることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記目的を達成するために、請求項１に記載の発明は、複数種類の図柄を変動させて行う図柄変動ゲームを表示する表示手段と、図柄変動ゲームの始動条件を付与する始動入賞手段と、始動入賞手段への遊技球の入賞を契機に大当りに当選しているか否かを判定する大当り判定手段と、小当りに当選しているか否かを判定する小当り判定手段と、前記大当り判定又は前記小当り判定が肯定の場合に当りの種類を決定する当り種決定手段と、当り遊技中に開放する入賞手段とを備え、前記大当り判定又は前記小当り判定が肯定の場合には前記図柄変動ゲームの表示結果が表示された後に前記当り種決定手段の決定結果に基づいて前記入賞手段を開放する当り遊技が行われ、前記大当り判定が肯定で前記大当り判定を肯定とする当選確率を低確率から高確率に向上させる確率変動状態を付与する当りの種類が決定される場合には前記入賞手段を開放する当り遊技の終了後に前記確率変動状態が付与される一方で、前記小当り判定が肯定の場合には当該肯定判定時の遊技状態が前記入賞手段を開放する当り遊技の終了後も継続される遊技機において、前記当りの種類からは、前記入賞手段の上限合計開放時間と前記当り遊技の終了後の遊技状態が特定され、前記当り遊技は、前記当り種決定手段が前記大当りの当選のもとで第１当りを決定した場合に付与される第１の当り遊技と、前記当り種決定手段が前記大当りの当選のもとで第２当りを決定した場合に付与され、前記第１の当り遊技よりも前記入賞手段の上限合計開放時間を短く設定した第２の当り遊技と、前記当り種決定手段が前記小当りの当選のもとで第３当りを決定した場合に付与され、前記第２の当り遊技との差異を遊技者が判別不能な態様で前記入賞手段を開放する第３の当り遊技とからなり、前記図柄変動ゲームでは、前記第２当りが決定される場合と前記第３当りが決定される場合とで演出用の図柄で構成される表示結果として同一の表示結果が表示されるようになっており、前記第２当り及び前記第３当りの何れかに基づく当り遊技終了後、当該当り遊技終了後の遊技状態が確率変動状態であるか否かを秘匿する特別モードを設定し、当該特別モードに基づく秘匿演出を実行させる秘匿演出実行手段と、前記第２当り及び前記第３当りの何れかの当選を契機として前記特別モードを設定するモード設定契機の到来により、前記第２当り及び前記第３当りの何れに当選したかを判定する設定契機判定手段と、前記モード設定契機の到来時に、前記第２当り及び前記第３当りの何れかの当選時の遊技状態が確率変動状態であるか否かを判定する遊技状態判定手段とを備え、前記特別モードは複数種類用意されているとともに、当該複数種類の特別モードは確率変動状態が付与されている可能性の大小によって順序付けされており、前記秘匿演出実行手段は、前記特別モードが設定された遊技状態中に前記モード設定契機が到来した場合には前記モード設定契機の到来時に設定されている特別モ

ードよりも前記確率変動状態が付与されている可能性が大きくなる特別モードを選択可能であって、前記設定契機判定手段により前記第２当りに当選した旨が判定されている場合には前記第３当りに当選したときよりも前記確率変動状態が付与されている可能性が大きくなる特別モードを選択し易くなっているとともに、前記遊技状態判定手段により前記確率変動状態である旨が判定されている場合には前記確率変動状態が付与されていないときよりも前記確率変動状態である可能性が大きくなる特別モードを選択し易くなっていることを要旨とする。